

科目名称：	こども特論（子どもと生活）	
担当者名：	永原 朗子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
子どもが心身ともに健康な生活を送り、その健全な発達・発育を保障することを目標に、自分と身近な人々、社会および自然との関わりを通して生活していく上で必要な基本的内容を学習する。		
授業の達成目標・到達目標		
子どもが心身ともに健康な生活を送る上で、必要な基本的内容を理解し、主体的・積極的に生活することが出来る。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	80		10	10	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 子どもの遊ぶ姿に触れる ー遊びの種類、社会性の育ち、人間関係のひろがりー	幼稚園教育要領・解説、保育所保育指針・解説、幼保連携型認定こども園 教育・保育要領・解説を読んでおくこと	90分
第2回 子どもの成長と保育 ー人間発達を通してー	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること	90分
第3回 子どもの特徴 ー育つ、育てる、育ち合うー	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること	90分
第4回 子どもを取り巻く生活環境 ー人的・物的環境ー	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第2回～第4回までの課題レポート	90分
第5回 子どもと家族・家庭環境(1) 親子関係、人間関係の大切さ	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第2回～第4回までの課題レポート	90分
第6回 子どもと家族・家庭環境(2) 生活習慣の形成	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第2回～第4回までの課題レポート	90分
第7回 子どもと地域環境(1) 地域を支える人たち	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第2回～第4回までの課題レポート	90分
第8回 子どもと地域環境(2) 地域の人たちと交流、年中行事	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第5回～第8回までの課題レポート	90分
第9回 子どもと社会環境(1) 公共物、公共施設を大切に使う	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第5回～第8回までの課題レポート	90分
第10回 子どもと社会環境(2) 集団、社会の一員としての役割・行動	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第5回～第8回までの課題レポート	90分
第11回 子どもと自然環境(1) 四季の変化と遊び	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第5回～第8回までの課題レポート	90分
第12回 子どもと自然環境(2) 植物、動物、野菜を育てる	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第9回～第12回までの課題レポート	90分
第13回 子どもの健康と安全 ー病気の予防と発見、事故の予防ー	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第9回～第12回までの課題レポート	90分
第14回 子どもの福祉 ー子どもの健全な育ちのためにー	配布資料を読んでおくこと。授業で学んだことを復習すること。第9回～第12回までの課題レポート	90分
第15回 子どもの生活環境の変化 ーより良い生活環境をめざしてー	全講義内容の復習と確認	90分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト(課題レポート)20% 授業への参加度、事前学習10%

課題に対するフィードバック

単元ごとの課題レポートに対するコメントを授業中に行う。定期試験の照会は研究室にて対応する。

教科書・参考書

使用テキストなし(講義資料の配布)「幼稚園教育要領」文科省、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」内閣府、文科省、厚労省、「幼稚園教育要領解説」文科省(フレーベル館)「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文科省、厚労省、(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚労省(フレーベル館)